

# 報告

## 天文教育普及研究会

### 関東支部会(2012年12月8日)報告

飯塚礼子 (日食情報センター)

#### 1. はじめに

2012年12月8日(土)、関東支部では、天文教育・普及に関する情報交換を目的とした支部会を開催しました。

日 程：2012年12月8日(土)

会 場：自然科学研究機構国立天文台  
中央棟 講義室

テーマ：2012年の天文普及活動

主 催：天文教育普及研究会 関東支部

時 間：13:00~17:10

「チリ・アタカマからアルマ望遠鏡が見る宇宙」と題して、アタカマ高原にいる平松正顕さんと東京三鷹の国立天文台とを中継(図1)して特別講演が行われました。標高5000mでの電波観測は他の観測地とでどのような性能の差があるか、また、今後の観測についてのお話は宇宙のナゾにせまるこれからの成果についての期待感であふれていました。講演後の質問も多く寄せられました。

中継地との時差は12時間。日本は午後1時開始の講演でしたが、チリでは深夜にあたる時刻でした。平松さんに感謝申し上げます。

#### 2. プログラム

12:30~ 受付

13:00~13:50【特別講演】

ALMA 山麓施設より中継

14:00~15:00【施設見学】

太陽フレア望遠鏡など

15:00~17:10【一般発表】

#### 【特別講演】

ALMA 山麓施設より中継

平松正顕 (国立天文台チリ観測所)

#### 【施設見学】

国立天文台太陽観測所の鈴木勲さん(図2)のご案内で太陽フレア望遠鏡(図3)、黒点望遠鏡などを見学しました。



図2 説明中の鈴木勲さん



図1 チリから中継の平松さん



図3 太陽フレア望遠鏡

### 【一般発表】

Luner Impact Monitoring Event(LIME)  
月面閃光観測計画----

藤由 嘉昭 (日本天文愛好者連絡会)

2013年 NASA による NLSI が月面大気・チリ観察のための探査衛星「LADEE (ラディ)」を打ち上げます。LADEE が月観察を行う期間中、月面閃光観測プロジェクト「LIME (ライム)」として、日本の大学やアマチュア天文家、天文台や科学館も参画することになっているとのご紹介がありました。

私の星形成論----

前岡 光明

ご自身でまとめられた星形成論のご紹介がありました。

「触る星図」と「触る星座早見盤」----

藤原 晴美

「触る星図」と「触る星座早見盤」を内容のご紹介を頂きました。参加者全員で実物を触らせていただきました。

三鷹七中天文部の 2012 年の活動とこれから----

橋本 直哉 (おおさわ学園

三鷹市立第七中学校)

国立天文台にいちばん近い中学校そして天文部の活動について発表がありました。

日蝕補完計画 (もしくは非公式記録の補完について) ----

友田 哲

2012年 5月 21日の金環日食に付随する観測とは関係ないかもしれない商品のご紹介やメディアの事例を集め発表いただきました。

山梨県立科学館「星の語り部」による被災地での出前プラネタリウム----

伊藤哲也 (国立天文台/山梨県立科学館「星の語り部」)

3.11 の震災地である気仙沼市や石巻市などでの前プラネタリウムを行った内容を発表くださいました。また、現地でイベントに参加されている多くの方々の様子や震災場所の写真を交えてご紹介いただきました。

2012年 11月 14日ニュージーランド沖、洋上皆既日食報告----

飯塚礼子 (日食情報センター)

ニュージーランド沖洋上にて皆既日食を観測した様子を写真にてご紹介がありました。

### 3. 終わりに

当日の参加者は 31 名で、7 件の発表が行われました。会場が国立天文台 (東京都三鷹市) であったことから、今回は太陽観測所の見学会を実施しました。担当くださいました坂江さんはじめ関係者の皆様にお礼を申し上げます。見学途中、太陽フレア望遠鏡をバックに参加者一同で記念撮影を行いました (図 4)。

閉会後には有志による懇親会も開催され、皆様の親睦がより一層はかられたことと感じています。



図 4 記念撮影

飯塚 礼子